

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館環境整備事業費（長寿命化計画外）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 153,189 千円 (前年度予算額： 500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	153,189	0	0	0	0	0	0	0	153,189
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県博物館は、令和5年に開館47年を迎え、建物・設備の老朽化が進行している。長期間使用した設備は機能が著しく低下しており、特に、資料整理に関わる簡易ガス燻蒸施設（外部から搬入した資料を収蔵庫に収納するため、殺虫殺菌する機器）が、気水分離器やガス吸着装置等、基盤となる設備の老朽化が深刻であり、故障により燻蒸が不可となれば、資料の収集・適切な管理に支障をきたす可能性が危惧される状況であり、緊急性のある箇所について早急に修繕が必要である。

また、スロープカーは、平成13年設置から22年を経過しており、最長の施設更新目安の15年から大幅に超過しているため、全面改修を行う必要があり、併せて緊急時の退避通路となっている点検用歩廊も経年劣化しており危険であるため改修が必要である。加えて、当館周辺道路の見通しの悪い交差点について、交通安全確保のための対策が必要である。

展示室の照明器具の取り付けについては、高所作業となるが、足場となる作業スペースが狭く作業の安全面を確保することが容易ではない。また、照明器具も収納箇所がなく直接床に置いている状態であり、器具の保管状況の改善が必要である。箱型パネルは展示室内を区切り多様なレイアウトを構成するために必要であるが、経年劣化によりゆがみが生じているためこのまま使用を続けると、パネルの転倒の恐れがあり、展示物や観覧者に接触するなどの事故が想定される。長年改修を行っていないことで、収蔵品の管理や展示構成の面で職員や来館者の安全面においても支障をきたしており、更新を行う必要がある。

けんぱくホールの音響機器においては、ワイヤレスマイクシステムの老朽化による受信機能の低下に加え、現在のワイヤレスマイク発信機は、電波法改正により法不適合の状態（施行時期延長のため当面の間使用可）にあることから、更新の必要がある。また、大型プロジェクターについては、旧式化、老朽化が顕著であり、経年劣化による明度低下や接続不良によりホール運営に支障が出ている。部品供給期間を経過し修理等の対応が困難な状況からも早急な更新が必要である。

本事業では、3年程度の整備を計画し、収蔵品の適切な管理、展示環境の改善・向上、来館者や職員の安全確保を通して博物館の魅力向上を図るために必要な費用の要求を行う。

(2) 事業内容

資料整理に関わる機器の更新、スロープカーの大規模改修、老朽化機器の更新等

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	2,035	簡易ガス燻蒸施設修繕
工事請負費	146,949	スロープカー改修工事、博物館周辺交通安全環境整備工事
備品購入費	4,205	老朽化機器の更新等
合計	153,189	

決定額の考え方

--

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽設備の更新等を実施し、貴重な収蔵品を適切に管理できる環境を整えることで、ふるさとの宝を増やし、博物館の魅力を高める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
博物館利用者数 (館外事業の利用者含む)	249,375	106,931	200,000	200,000	200,000	53%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	人文展示室内の映像コーナーの改修や人文展示室内の照明取替工事等により、人文展示室内の展示環境が整い、質の高い展示を行うことができる。
	指標① 目標：200,000 実績：73,784 達成率：36.8%
令和3年度	展示ケースの更新によって、資料の適切な管理が可能となり、質の高い展示を行うことができる。LED照明については、今年度特別展においてその効果を発揮している。
	指標① 目標：200,000 実績：82,205 達成率：41.1%
令和4年度	〇査定のため未実施
	指標① 目標：200,000 実績：106,931 達成率：53.4%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>資料整理に関わる機器等の老朽化が進み、職員や来館者の安全の確保、収蔵品の適切な管理が容易ではなく、今後の作業効率の向上を図るためにも作業環境の設備を整えることが急務である。安全で安心な作業環境をつくることで展示作業効率もあがり、サービスの質の向上にもつながる。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>展示ケースには、資料保護およびセキュリティの観点からも安全な資料展示が可能で、より充実した展示の開催が見込める。LED照明については、展示資料への影響を抑えつつ、光量等の調整によって効果的な展示を図ることが可能となっている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>LED照明の導入によって、よりよい環境下での資料展示を来館者に提供することができた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 老朽施設の更新においては、適切な設備を導入するために日頃から情報収集を行う必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 更新した設備等を活用し、ふるさとの魅力を高めるための良質な資料を収集・展示し来館者等に発信することで、博物館の魅力の向上を図る必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	